「水曜サロン with 赤堀会長」第3期 第11回(通算41回)

年末の総復習!GIGA端末を活用した自立的な学び 山本 朋弘 氏(中村学園大学教育学部 教授)

1. 内容

- ・チェックポイント
- ・1人1台端末の効果的活用とは
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

2. 所感

今年最後のテーマは、GIGA端末活用の総復習。総復習という事で、チェックポイントとゴールイメージと事例のご紹介をいただきました。明確でした。いくつかご紹介します。

GIGA 1 人 1 台端末になって、従来の方法から何が変わったのか?教師主導の授業をやり易くしているだけに留まっていないか?自立した学習者に育てることが最終ゴールである。

個別最適な学びかどうかについては、学習者が自分で選んで自分で決めてという学びができたかどうか。学びの方法を自分で選ぶ(YouTube動画にも素晴らしい教材はある)、学習ペースも各自のペースでよい。時間をかけて丁寧にやる子を大事にしたい。

協働的な学びは、グループで話し合う、話し合いの活発さが目的ではなく、一人一人の考えが深まることがゴールである。静かなる協働学習というものの事例を共有いただきました。例えば、理科の実験。実験結果を共有、話し合いはせずに、結果を個人で考察、考察を共有する。例えば、国語の作文を共有し、チャットで意見を書き込みをする。それでも、集中して、考えを深めることはできる。なるほど、静かなる協働学習、これは個人的な流行語大賞です。

質疑も活発に行われました。家庭学習の事例をご紹介します。ポイントは、家庭で行うほうがやり易い、より役に立つの視点が重要とのことでした。例えば、英語スピーチや縦笛演奏、家庭での仕事を録画して提出。家庭では録画なので、通信環境に左右されず、教室よりノイズが入らない、なるほど。2つめは、チャットを使って協働で問題を解く。最後は、持ち帰りを自分で決める。あくまでゴールは自立した学習者を育てること。

GIGAの総復習、水曜サロンの一年の〆にふさわしい1時間でした。山本先生、ありがとうございました。